

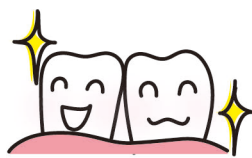


健康ニュース

047-421-0118



快適な食事のためには 歯を失わないことが大事



食事は多くの人にとって、人生の最大の楽しみの一つと言えるでしょう。『人生100年』とも言われる現代において、食事を快適に摂ることができるかどうかは、生



活の質を大きく左右します。快適で美味しい食事をいつまでも楽しむためには、歯を失わず、しっかりと噛むことができる状態を維持することが重要です。

できるだけ歯を失わないために

「悪くなってから」ではなく 「悪くならないように」予防していく

日本においては、まだまだ「歯が悪くなってから歯医者に行く」という人が多いようですが、歯が悪くなってから治療をしても、完全に元通りの健康な状態に戻すことはできません。「悪くなってから治療」を繰り返していると、再発を起すうちに歯のダメージが大きくなり、最終的には歯を失ってしまうこととなります。この「悪化のループ」に入り込まないためには、積極的な予防ケア（ご家庭での正しいケア、歯科医院での定期的なメンテナンス）を続けていく必要があります。



歯が悪いのを放置しない

むし歯を放置、治療途中で通うのをやめた、歯が抜けたまま、という人はいないでしょうか？「いつか治療しよう」と思いながら、むし歯や歯を失った部分を放置すると、その部分は確実に悪化していき、かみ合わせが崩れることも重なって周囲の歯も巻き込み、結果的に歯をどんどん失うこととなります。たとえ、歯が悪くなったとしても、放置せずすぐに治療をすれば、状況の悪化を防ぎ、次々と悪くなる「悪化のループ」をストップすることができます。くれぐれも、悪いところがあるのに、「反対側で噛めるから」「痛くないから」と放置しないようにしましょう。



インプラントで 負の連鎖をストップ

歯を失った部分の治療法には、入れ歯、ブリッジ、インプラントがあります。入れ歯やブリッジの場合、周囲の健康な歯を支えとして使用する必要があり、その歯への負担が増します。このような負担が長期にわたり続くと、将来、支えとなる歯の治療が必要になることもあり、最悪の場合、歯を抜くことも考えられます。一方、インプラントは周囲の歯に負担をかけず、その結果、「負の連鎖」を防ぎ、歯の健康を守ることができます。



部分入れ歯

入れ歯を安定させるために周囲の歯を削って、バネを引っかけます。



ブリッジ

周囲の歯を削って、ブリッジを支えます。



インプラント

歯槽骨にインプラントを埋め込み、その上に被せ物を取り付けます。そのため、周囲の健康な歯への負担がありません。